

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

東部地域振興事務所（電話：0857-20-3664）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
氷ノ山にぎわい創出事業	1,790	1,790	0				1,790	
トータルコスト	4,920千円（前年度 4,920千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	負担金・補助金交付、額の確定等事務及び関連機関との連絡調整、イベント支援							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

氷ノ山県際地域の特徴を生かした交流を発展させ、交流人口の増加や同地域のにぎわいを創出するとともに、氷ノ山の観光資源の魅力向上に資する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	事業名	主な事業内容	予算額	事業実施主体
1	わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化事業	夏山開きや自然体験活動等地域活性化事業の実施	1,500	わかさ氷ノ山自然ふれあいの里
2	氷ノ山県際交流推進事業	鳥取県と兵庫県在住者が氷ノ山を通じて交流する「両県越境登山交流ツアー」等に係る事業への助成	290	活性化協議会
合計			1,790	

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

- ・協議会を通して、氷ノ山周辺地域への集客促進につながる広報宣伝活動やイベント、県境を越えた氷ノ山での交流事業等を実施する。

○取組状況

ア わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化事業

- ・協議会を通して、氷ノ山地域の観光振興と活性化に向け、集客促進と地域の魅力づくりを、県境を越えて継続している。

イ 氷ノ山県際交流推進事業

- ・鳥取県と兵庫県では県境を越えた交流事業として、氷ノ山周辺地域において夏山開き等の自然活用イベントや広報宣伝等を通じた集客促進や地域の活性化を行っている。
- ・R5年度は、4年ぶりに氷ノ山交流登山ツアーを実施した。（新型コロナの影響によりR2～3年度は交流事業を中止、R4年度は交流事業に代えて氷ノ山フォトコンテストを開催した。）

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 <地方機関計上予算>

中部県民福祉局 (電話: 0858-23-3987)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業	3,200	4,496	△1,296				3,200	

トータルコスト 9,460千円 (前年度 10,734千円) [正職員: 0.8人]

主な業務内容 事業企画・委託事務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県中部地区では、平成26年度に官民で「鳥取中部ウォーキングリゾート推進協議会」を組織し、鳥取県中部ならではの特徴を活かした地域づくりのコンセプトとして、健康、観光、環境、教育、交流をキーワードに「ウォーキングリゾートとっとり」の取組を推進している。

平成28年度に開催したワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会の成果を継承し、国内外から多くの方が訪れ、滞在し、交流する観光リゾートを目指すと共に、誰もが生き生きと健康に活躍できる地域となるための以下の事業を行う。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部ウォーキングリゾートコンシェルジュ育成事業(継続)【250千円】

ウォーキングを年間を通じた観光素材とし、ウォーキングによる地域づくり、観光振興につなげるため、コース案内やガイド、指導が行える人材を育成するための研修会を実施する。

(2) 地域と進める中部ウォーキングリゾート補助金(新規)【1,000千円】

観光振興、地域振興のため、市・町が実施する、これまで造成したウォーキングコースを活用した、外国人ウォーカー向けの「食」や「温泉」などと組み合わせて開催するウォーキングイベント等への支援を行う。

区分	内容
事業主体	中部1市4町、市町観光協会等
補助率	1/2 (市町が支援を行う額の1/2を補助)
補助上限額	500千円
対象経費	会場設営や、コース案内版、エイドステーション設置、保険料、ガイドや通訳などイベント運営に必要となる費用等 (例) ・温泉施設や飲食店との利用調整に係る費用 ・利用する施設のペット同伴にかかる調整に要する費用 ・コース案内ができるガイドを育成する費用

(3) 外国人ウォーカー誘客促進事業補助金(継続)【600千円】

海外からのウォーカー誘客を図り、ウォーキングによる鳥取中部の観光振興、地域振興を一層推進するため、民間団体が行う、鳥取中部で開催されるウォーキング大会の海外プロモーション活動を支援する。

区分	内容
事業主体	中部地区でウォーキングイベントを開催する民間団体
補助率	10/10
補助上限額	600千円
対象経費	(1) 招聘旅費、海外渡航費、現地での広報宣伝費 ※補助対象国 東アジア (2) Webシステムでのプロモーションに係る経費(機材・通信料は対象外)

(4) SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金(継続)【1,000千円】

鳥取県の自然、文化、歴史を味わえる3km~40kmまでの11コース(2日間)を楽しむことができる全国規模の本県を代表するウォーキング大会「SUN-IN未来ウオーク」の開催を支援し、ウォーカー誘客の促進とウォーキングリゾートを推進する。

(5) 鳥取中部ウォーキングリゾートデジタル化推進事業(継続)【350千円】

ウォーキングリゾートに国内外から多くの方が訪れ、滞在し、交流する観光リゾート化を実現するため、ウォーキングコースのデジタル化を推進し、中部圏域の観光資源との連携を図る。

3 事業目標・取組状況・改善点

- 「ウォーキングリゾートとっとり」の取組を推進し、国内外から多くの方が訪れ、滞在し、交流する観光リゾートを目指す。
- ウォーキングを利用したコース案内やガイド、ウォーキング指導が行える人材を育成する。
- 海外プロモーションによる誘客促進活動の支援、ウォーキングイベントの開催を支援する。
- 地域一体となってウォーキングに親しめる環境の整備を行う。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 <地方機関計上予算>

中部県民福祉局（電話：0858-23-3985）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
鳥取中部広域観光連携推進事業	18,514	18,514	0				18,514											
トータルコスト	32,599千円（前年度 32,549千円） [正職員：1.8人]																	
主な業務内容	補助金事務（審査・検査等）、事業計画立案に係る企画調整、事業執行（広域連合との連携）、地域振興業務（団体支援及び市町等との調整等）、観光振興業務（相談、支援、市町等との調整等）																	
事業内容の説明																		
1 事業の目的、概要																		
鳥取中部ふるさと広域連合（以下「広域連合」という。）が策定した「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を発展させるため、広域連合と連携して鳥取中部観光推進機構を支援し、広域観光を推進する。																		
2 主な事業内容																		
（1）鳥取中部圏域広域観光連携推進事業（継続）【15,000千円】 広域連合が鳥取中部観光推進機構に委託して実施する広域観光推進事業に要する経費の一部を支援する。																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主体</td> <td>鳥取中部ふるさと広域連合</td> </tr> <tr> <td>補助対象</td> <td>県政推進と密接に連携した鳥取中部圏域の広域観光振興を図るための事業</td> </tr> <tr> <td>補助上限額</td> <td>15,000千円（補助率1/2）</td> </tr> <tr> <td>実施方法</td> <td>事業計画は県も参画して広域連合が作成し、県の誘客施策と連携の上、効果的に事業実施する。</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	事業主体	鳥取中部ふるさと広域連合	補助対象	県政推進と密接に連携した鳥取中部圏域の広域観光振興を図るための事業	補助上限額	15,000千円（補助率1/2）	実施方法	事業計画は県も参画して広域連合が作成し、県の誘客施策と連携の上、効果的に事業実施する。
区分	内容																	
事業主体	鳥取中部ふるさと広域連合																	
補助対象	県政推進と密接に連携した鳥取中部圏域の広域観光振興を図るための事業																	
補助上限額	15,000千円（補助率1/2）																	
実施方法	事業計画は県も参画して広域連合が作成し、県の誘客施策と連携の上、効果的に事業実施する。																	
（2）県職員の駐在に要する経費（継続）【620千円】 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業において、県との連携、情報共有を効果的に行うため、職員を広域連合に駐在させるための経費。（光熱水費、電話料、コピー代等）																		
（3）櫻杯争奪相撲選手権大会支援（継続）【500千円】 郷土出身の第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方：倉吉市出身）を顕彰し、中国地方でも有数の相撲大会である櫻杯争奪相撲選手権大会の開催及びわんぱく相撲全国大会派遣を支援する。																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主体</td> <td>桜相撲振興協議会</td> </tr> <tr> <td>補助対象</td> <td>広告宣伝費、全国大会への選手派遣経費</td> </tr> <tr> <td>補助上限額</td> <td>400千円（補助率1/2）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>記念品購入のための報償費（100千円）</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	事業主体	桜相撲振興協議会	補助対象	広告宣伝費、全国大会への選手派遣経費	補助上限額	400千円（補助率1/2）	その他	記念品購入のための報償費（100千円）
区分	内容																	
事業主体	桜相撲振興協議会																	
補助対象	広告宣伝費、全国大会への選手派遣経費																	
補助上限額	400千円（補助率1/2）																	
その他	記念品購入のための報償費（100千円）																	
（4）活動経費（継続）【2,394千円】 中部圏域の地域資源を活用した観光（コンテンツツーリズム、文化ツーリズム、アウトドアツーリズム等）、広域観光等について、地元住民及び地元自治体等と連携して推進するための活動経費。（標準事務費）																		
3 事業目標・取組状況・改善点																		
<ul style="list-style-type: none"> ○地域魅力の創出、プロモーション等を行い広域観光誘客を促進し、圏域内の周遊性向上、滞在時間の延長を図り、圏域内消費の拡大につなげる。 ○「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って観光を通じた地域経済の活性化を効果的に図るため「鳥取中部広域観光戦略会議」において対策の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信する。 ○令和5年10月の米子ソウル便の定期運航再開に合わせて、韓国旅行会社へのセールスプロモーションを行うなど、コロナ後のインバウンド需要の獲得に向けて韓国、台湾、香港に向けて時機をとらえた海外誘客活動を行った。 ○中部圏域が有している温泉、自然・景観、食、アニメ、ウォーキング等の観光資源をベースに、癒しのイメージづくりに必要な素材・ロケーションの掘り起こしや、ホームページ内容の追加・更新と多言語化等による誘客強化を引き続き行っていく。 																		

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

西部県民福祉局 (電話: 0859-31-9371)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース開通5周年事業	1,500	0	1,500				1,500	

トータルコスト 7,273千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.7人、会計年度任用職員: 0.1人]

主な業務内容 資料作成、連絡調整、開催準備・当日応対等

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和7年3月に開通5周年を迎える「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」。年間を通じたイベントの実施により、地元住民の更なる愛着の増進によるコースの持続可能な環境整備・維持の機運を高めるとともに、令和7年度に想定されるナショナルサイクルルート第3次指定に向けた機運醸成を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	内容	予算額
開通5周年イベント事業	・沿線地域住民の利用促進イベントの実施 内容: 沿線校区単位でのコース試走、安全教室を実施。 対象: コース沿線住民 開催時期: 通年 予算: 500千円 (100千円×5回)	500
	・NCR指定時期直前と想定される時期に、指定に向けた機運醸成の盛り上げを図る記念行事の実施 内容: 記念セレモニー、ゲストとのコース走行等	1,000
合計		1,500

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

地元住民の更なる愛着の増進による当該コースの持続可能な環境整備・維持ならびに当該コースを含む鳥取うみなみロードのナショナルサイクルルート指定への機運醸成

○取組状況・改善点

- 「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」は平成23年度に検討を開始、平成27年度着工し、令和2年3月に全線開通した(全長15.8km)。
- 開通後、コロナ禍でも安心安全に活動できるアクティビティとして、サイクリングの認知が高まるのと相まり、観光レンタサイクル利用と地域のサイクリングへの注目が飛躍的に上がった。
- 観光だけでなく、地域住民の日常的なウォーキング、ランニング、サイクリングの場としても利用され、一定の人氣が定着しつつある。
- コースの持続可能な環境整備・維持には、これまで利用したことのない住民にコースへの関心を高める必要がある。コースの利用と自転車の安全な利用を伝える機会を創出することで、コースをより身近に、地域の宝としての認識を醸成し、利用拡大と環境保護への関心呼び起こすことができる。また、合わせてナショナルサイクルルート指定への機運醸成が図られる。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部県民福祉局（電話：0859-31-9364）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山山麓・日野川流域観光推進事業	17,310	27,460	△10,150				17,310	

トータルコスト 62,604千円（前年度 72,560千円） [正職員：5.6人、会計年度任用職員：0.5人]

主な業務内容 事務局運営、予算・決算管理、イベント実施、情報発信、市町村や民間関係者との調整等

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

大山・日野川圏域のブランド化による「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくりを目指して、圏域での広域連携・官民連携による取組を実施することで、圏域一体となった観光・地域振興を図る。

2 主な事業内容

【負担先】大山山麓・日野川流域観光推進協議会

（県西部9市町村、倉吉市、琴浦町、県及び県中西部9市町（日吉津村、日野町を除く）観光協会で構成）

○次の施策を5本柱に事業を展開し、圏域の連携をより深化させ、圏域が一体となった観光振興・地域振興を図る。

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 「大山時間」サイクリング聖地化事業	鳥取うみなみロードのナショナルサイクルルート化に連動し、圏域全体への周遊と地域収益の向上を図るため、西部7商工会による地域ブランディングプロジェクト「大山時間」と連携した取組を行う。 ・受入環境整備（ツアー商品化支援、おもてなし講座等の開催） ・情報発信（宣材用画像撮影、動画制作、イベント・展示会参加等） ・広域連携による魅力発信（サイクルマルシェの実施、サイクリング環境の利用促進）	3,200
2 二次交通事業	・周遊タクシーの定額運行支援 ・観光マイスター研修	2,860
3 プロモーション事業	・観光情報発信の強化（ホームページ、SNS情報発信業務の外部委託） ・「大山」ブランドの推進（SNSによる情報発信キャンペーン、メディアプロモーション、Web広告、大阪・関西万博を契機とした誘客対策） ・来訪者受入環境整備（ガイドブック増刷・多言語化等）	8,500
4 インバウンド誘客事業【新規】	・アラウンド大山聖地巡礼ツアー造成（3コース以上、ネット販売） 〔観光庁：地域観光新発見事業〕 ※令和5年11月国補正予算を活用予定	500
5 広域連携事業	・地域間連携による誘客・イベントの支援（「つながるマルシェ」、「刀剣・たたら関連事業」、「日本遺産PR事業」、「酒蔵ツーリズム事業」） ・民間事業者による圏域への誘客促進及び収益向上に資するモデル的な取組への支援 上限1,000千円（補助率2/3）×2件 ・事務局経費	2,250
合計		17,310

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

大山・日野川圏域のブランド化による「稼ぐ地域」形成を通じた持続可能な観光地域づくり

【取組状況】

H29年4月～R1年11月

伯耆国「大山開山1300年祭」

H31年4月～

大山山麓・日野川流域観光推進協議会の設立により新たな体制を整備し、広域観光連携に継続的に取り組んでいる。

○改善点

- ・当圏域の他に類を見ない「コンパクトさ」という強みと絶対的シンボル「大山」の魅力を前面に打ち出した圏域のブランディング、情報発信を強化するとともに、今後需要が拡大する若しくは成長が期待できる分野、継続して取り組むべき課題解決や広域的な連携などに事業を絞り込み再構築する。
- ・サイクリング聖地化に向け、民間の商工団体の取組との連携を強化する。
- ・クルーズ船の寄港、米子ソウル便の定期便再開、大阪・関西万博など今後のインバウンド需要の拡大を見据え、二次交通対策の充実も含め、新たにインバウンド誘客対策に取り組む。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部県民福祉局 (電話: 0859-31-9769)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイルエコツーリズム (アウトドアツーリズム) 普及推進事業	14,721	12,947	1,774				14,721	
トータルコスト	27,830千円 (前年度 25,997千円) [正職員: 1.6人、会計年度任用職員: 0.2人]							
主な業務内容	エコトラック推進に係る業務、サイクリングコース維持管理業務							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

これまでスポーツツーリズム「サイクリングリゾート」推進事業等での取組による蓄積及びネットワークを活用し、「とっとりスタイルエコツーリズム」の一端として、新たな生活様式に対応したスポーツ・アウトドア環境の整備を進め、幅広く内外にPRを行い、多くの方々に来訪いただき満足いただける地域を目指す。

2 主な事業内容

(1) サイクリング環境整備 予算額: 8,221千円

(単位: 千円)

細事業名	内容	予算額
1 サイクリングコース維持管理	H28に供用開始した皆生工区、H30供用の夢みなど工区及びR2設定の日野川周回ルート(国交省が管理する河川管理道)に掛かる巡視・清掃・土砂撤去・除草、不法投棄物撤去等	7,830
2 損害賠償責任保険加入	サイクリングコースの損害賠償責任保険加入に係る費用	11
3 住民参加型美化活動	住民参加型美化活動の実施	380

(2) アウトドアツーリズムイベント開催支援 予算額: 6,500千円

(単位: 千円)

補助金名	内容	予算額
1 鳥取県全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	トライアスロン発祥の地・皆生の海を泳ぎ、大山山麓を自転車で駆け抜け、弓ヶ浜半島を走る国内を代表する大会として支援する。 初開催: 昭和56年	5,000
2 鳥取県皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	日本海から大山山頂までを人力(カヤック、自転車、登山)で移動しながら自然の大切さを感じる当地発祥の環境型スポーツイベントとして支援する。 初開催: 平成21年	1,000
3 鳥取県中海オープンウォータースイム開催支援補助金	H23中海のワイズユースの一環として水質改善活動10周年を記念に開催された。日本水泳連盟認定大会のひとつであり、米子市とともに新たなスポーツ観光の柱として支援する。 初開催: 平成23年	500

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

- サイクリングコースの環境整備を行うことで、コースの利便性向上、利用者数の増加を図る。
- 地域を代表するアウトドアスポーツイベントの開催を継続的に支援することにより、アウトドアツーリズムの適地としてのブランド化を図る。

○取組状況

- H26年から整備を行い、R1年度末に全線供用開始した「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の環境整備を継続して行っている。
- 周辺自治会等による住民参加型のコースの環境美化活動も継続して実施されており、地域に愛されるサイクリングコースとして定着してきている。
- アウトドアスポーツイベントについて、新型コロナウイルスが五類に引き下げられたことにより、コロナ前と同程度の開催となり、県外から多くの来訪があった。

○改善点

- 「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート指定に向け、その一部である弓ヶ浜サイクリングコースの環境整備を引き続き進める。
- アウトドアツーリズムによる観光への波及効果をより高めるための取組を検討していく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部県民福祉局 (電話: 0859-31-9769)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地等魅力向上事業	6,000	6,000	0				6,000	
トータルコスト	9,913千円 (前年度 9,898千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	補助金事務、関係機関との連絡調整、負担金の支出、実行委員会出席、助言等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

国内外からの観光誘客のため、本県の重要な観光素材である「温泉」の魅力向上を図る。

2 主な事業内容

温泉地、観光施設、米子市が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]	6,000	各種イベント事業の実施及びPR インバウンド対応の円滑化対応 周辺観光地タイアップ事業の実施等

※負担割合 県 1/3、米子市 1/3、旅館組合等の地元 1/3

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・ 皆遊ビーチ事業などのイベント実施により皆生温泉の知名度向上を図る。
- ・ WEBを活用した情報発信のほか、旅行ニーズの多様化・旅行形態の変化に応じた取組を支援している。
- ・ 訪日客への積極的な告知や現地に出向いてのPR支援を行っていく。
- ・ 皆生温泉の更なる知名度向上や新たな客層の取込みを図るために、クルーズ船乗客誘致を戦略的に進めるなど来訪者の増加を図る。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部県民福祉局（電話：0859-31-9769）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海振興費	5,454	5,454	0				5,454	
トータルコスト	14,661千円（前年度 14,566千円） [正職員：0.8人、会計年度任用職員：1人]							
主な業務内容	大山寺参道にぎわい活性化事業補助金の支払い、観光情報の収集及び発信等							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
大山寺参道の施設整備に対する支援のほか、西部管内における観光地域づくり推進に向けた観光情報の収集及び発信等を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 大山寺参道にぎわい活性化事業補助金(令和6年度分 H29～R8) 予算額：2,893千円								
(2) 標準事務費 予算額：2,561千円								
3 事業目標・取組状況・改善点								
大山寺参道の足湯整備、にぎわい活性化等、観光客にとってより地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めてきた。今後も西部管内の観光地域づくり推進に向けた取組を実施する。								

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費

日野振興局（電話：0859-72-2082）

1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイルニューツーリズム「たたら資源等活用」推進事業	1,614	1,614	0				1,614	
トータルコスト	7,874千円（前年度 7,852千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	プロジェクト管理、委託関係事務、各種資料作成、関係機関調整業務等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

日野郡が活力ある地域となるために、豊かな自然やたたら等地域資源の磨き上げを行いながら、地域が連携して情報発信することにより、日野郡全体の認知度向上と交流人口の増加を図る。

2 主な事業内容

日野郡の歴史的資源である「たたら」を活用し、日野郡の認知度の向上と交流人口の増加を図るとともに、日野郡広域交流促進協議会が行う地域資源の磨き上げや情報発信事業に対し助成する。

(1) 地域の誇り「たたら」磨き上げ事業【564千円】

(単位：千円)

区分	内容	予算額
地域の誇り「たたら」磨き上げ事業	・ミニたたら操業体験（広域的な普及啓発） ・地域伝承調査（情報発信素材収集）及び集約	564

(2) 日野郡ニューツーリズム推進事業【1,050千円】

(単位：千円)

区分	内容	実施主体	県補助率	予算額
日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	エコツーリズムメニュー造成・磨き上げ等、情報発信に要する経費	日野郡広域交流促進協議会	1/2	1,050

3 事業目標・取組状況・改善点

【事業目標】

歴史文化資源としての「たたら」について、伝承調査による素材の蓄積と普及・啓発を行い観光素材として磨き上げるとともに、誘客に資する情報を発信することで「日野郡」の認知度向上を図っていく。

【取組状況・改善点】

たたらを紹介する冊子の作成、「ミニたたら操業体験」などの普及啓発を継続して行い、「たたら」が日野郡の重要な歴史文化資源であることが郡内外で定着してきている。

また、日野郡広域交流促進協議会が取り組むモニターツアーをはじめとする観光素材の磨き上げや、広域観光マップの作成、関西圏域におけるデジタルサイネージ放映など、広く県内外への情報発信を支援している。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7629）
→事業実施：国際観光課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
インバウンド観光V字回復推進事業	547,350	515,149	32,201	7,696			539,654	
トータルコスト	653,404千円（前年度 520,897千円） [正職員：12.8人、会計年度任用職員：2人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整等、国際定期便利用促進、国際航空便就航促進、旅行社との調整、イベント準備、補助金対応							

事業内容の説明

【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

国際定期便の安定的運航や国際チャーター便を含む新規路線誘致を推進するとともに、主要市場である東アジア（韓国、中国、香港、台湾）や訪日観光客需要の伸び率が高い東南アジア市場、長期滞在による高い消費が見込まれる欧米豪市場向けなど多角的な市場に対し誘客プロモーションを推進する。加えて、多言語化やWi-Fi整備など外国人観光客が旅行しやすい環境を整備する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
1 国際便運航支援	国際定期便の安定的運航や国際定期便利用促進協議会と連携した利用促進、二次交通対策、県内空港へのチャーター便就航を推進。	286,000
2 誘客プロモーション	航空会社・旅行会社と連携したプロモーションやインフルエンサー・メディア招請等による本県観光魅力を発信。	151,000
3 海外駐在員配置・現地事務所設置	韓国・香港・台湾人駐在員の配置、上海現地事務所を設置し、現地情報収集、旅行会社への情報提供、SNS情報発信等を実施。	28,500
4 外国人観光客倍増促進補助金（誘客活動支援・受入環境整備）	県内民間事業者、市町村等を対象に、PRツールの多言語化やWi-Fi整備等の受入環境整備を支援。	12,000
5 外国人観光客誘致対策補助金	米子鬼太郎空港を発着する国際定期便を利用して送客する旅行会社に対し、県内宿泊日数に応じて補助。	12,000
6 外国人観光客送客促進事業補助金	本県を目的地とした旅行商品の販売促進等に係る経費、旅行商品催行に係る経費の一部または全額を支援。	57,000
7 外国人観光客へのおもてなし対応	県内の観光事業者（宿泊・商業施設、交通機関、観光案内所等）からコールセンターへの架電による3者間通訳サービスを提供。	850
合計		547,350

3 事業目標・取組状況・改善点

- (1) 事業目標 外国人延べ宿泊者数27万人（令和6年）
- (2) 取組状況 令和5年10月に米子ソウル便が再開し、令和5年12月から翌年2月まで米子香港便が就航した。引き続き、ソウル便増便・香港便通年運航・上海便再開・台湾チャーター便就航等を実現するため、航空会社への働きかけやプロモーションを強化していく。

【誘客に向けた各市場での主な取組】

韓国	米子ソウル便のチャーター就航（R5.4）、定期便再開（R5.10）。エアソウル等と連携したプロモーションや知事トップセールスによる観光情報説明会、旅行会社視察ツアー、インフルエンサー招聘やSNS等により本県観光魅力を発信。
香港	米子香港便のチャーター便（R5.7-8）及び定期便就航（R5.12-R6.2）。香港航空等と連携したプロモーションやインフルエンサー招聘や香港で最も来場者が多い一般消費者向けイベント「香港ブックフェア」への出展、SNS等により本県魅力を発信。
中国	中国最大級の旅行博である上海旅游産業博覧会への出展や上海吉祥航空と連携した上海市内の商業施設大型LED看板や地下鉄駅構内広告、SNS等により本県観光魅力を発信したほか、中国から日本への団体旅行解禁を受け、中国の旅行会社による県内視察ツアーを受入。
台湾	台北とのチャーター便就航（R5.4、10）。台湾最大の旅行博ITF出展や台湾で人気のインフルエンサー招聘、訪日旅行をする際に多くの台湾人が閲読する旅行雑誌の招聘、鳥取県観光大使（R5.8任命）等によるSNSでの本県観光魅力を発信。また、将来的な定期便就航に向け現地航空会社と覚書締結。
東南アジア	バンコク日本博やシンガポール旅行博への出展、マレーシア人インフルエンサー招聘やSNS等により本県観光魅力を発信。
欧米豪	英豪旅行会社との商談会への参加やニューヨークから大手旅行社を招聘、知事米国トップセールスによる現地観光説明会を開催。合わせてパリ・ロンドン旅行博出展やSNS等により本県観光魅力を発信。

(3) 改善点

- ・特定市場の政治情勢等に影響されない持続可能な誘客を推進するため、市場多角化を図っている。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7629）
→事業実施：国際観光課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
一般社団法人山陰インバウンド機構運営事業	100,000	74,000	26,000				100,000	

トータルコスト 117,215千円（前年度 91,153千円）〔正職員：2.2人〕

主な業務内容 DMOとの連携、負担金の支出

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「観光地マネジメント」の視点に立った地域の磨き上げと、「山陰」を対象エリアとした観光地域づくりの中心となる機能をもつ山陰インバウンド機構の運営費を負担する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
1 市場創出 関西万博等を見据え、山陰が目的地として選ばれるため、広域周遊を促進し、市場創出を図る。		46,730
(1) 調査・分析事業	大阪・関西万博を見据え、山陰エリアの自治体、DMO、事業者等へのヒアリング調査や山陰地域内のインバウンド来訪客のサンプリング調査分析等により、関西ゲートウェイからの誘客施策を展開	
(2) 情報発信・プロモーション事業	日本政府観光局との連携（視察ツアー、旅行博出展等）やグローバルウェブサイトの充実、山陰インバウンドアドバイザーなど発信力のある外国人活用等により、山陰ブランド化に向けた魅力発信強化を図るとともに、中国5県周遊デジタルパスの展開により、関西・九州・山陽からの観光客を山陰に誘導	
2 観光地域づくり 観光商品等のマネタイズ（収益化）や人材育成支援等により域内周遊や滞在延長を促すことで観光消費拡大を図る。		19,780
(1) 滞在コンテンツの開発・充実	地域で観光振興・コンテンツ開発を行う民間事業者の課題解決、マネタイズに向けた伴走支援	
(2) 受入環境整備	山陰旅行の目的地となりうるテーマ、ストーリーの整理、書籍化、動画作成	
(3) 観光人材育成事業	山陰ツーリズム人材育成塾の開催など大学等のプラットフォームを活用した観光中核人材の育成・支援	
(4) 地域向け情報発信事業	山陰インバウンドセミナー開催やメールマガジン「山陰インバウンドニュース」配信による地域向け情報発信	
3 管理運営費等		33,490
	合計	100,000

3 事業目標・取組状況・改善点・目標値

山陰インバウンド機構は、“山陰”が世界に通用する観光地となるよう、官民が連携して、観光地経営の視点に立った観光地づくりの舵取り役としての役割を果たす日本版DMOとして、鳥取・島根両県により平成28年に設立された。

また、山陰を訪れる訪日外国人の年間宿泊者数40万人泊を目標（令和8年）に、山陰の観光資源をPRし、地域と連携しながら山陰ブランドの構築や情報発信などに取り組んでいる。事業成果として、山陰インバウンド機構が主催する山陰ツーリズム人材育成塾開催を通じた観光人材の育成や地域発の体験・滞在型コンテンツを販売促進することで、国内外観光客の域内周遊を進めている。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7629）

→事業実施：国際観光課、政策戦略本部関西本部万博推進室

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	134,173	89,475	44,698				134,173	
トータルコスト	140,433千円（前年度 95,713千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、負担金交付業務							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

今後の海外渡航規制の緩和、インバウンド需要の回復を見据え、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した外国人観光客の誘客活動や多言語ホームページ・SNSの活用による情報発信等を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
(1) 広域連携国際観光推進事業負担金	中国5県や関西地域、東京都など他の地域と連携した外国人観光客誘致事業を行う広域協議会への経費負担。 ア 中国地域観光推進協議会（5,050千円） イ 関西国際空港内広域観光案内推進協議会（800千円） ウ 東アジア地域観光交流促進事業（1,800千円） エ JNTO賛助会（640千円） オ 東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業（820千円） カ 山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン（500千円） キ 関西広域連合負担金（大阪・関西万博分）（87,971千円）	97,581
(2) JR西日本との連携事業	JR西日本及び近隣県と連携したプロモーション	700
(3) 国際観光案内体制の整備	ア 米子空港内観光案内所にソウル便、香港便、上海便に対応した案内人を設置 イ 案内所スタッフへの研修を実施	3,218
(4) おもてなしの充実	県内空港、JR駅・列車内でのチャーター歓迎対応を実施（歓迎対応運営委託）	700
(5) メールを活用した通訳案内士等による多言語観光ガイド業務	外国人個人旅行者（FIT）の利便性向上を図るため、メールを活用した通訳案内士等による多言語観光ガイドの整備に取り組む。	1,228
(6) 海外向け情報発信	ア アフターコロナ観光情報発信 イ 多言語ホームページ保守管理 ウ SNS等素材（写真・動画）収集	2,000
標準事務費		28,746
	合計	134,173

3 事業目標・取組状況・改善点

インバウンド需要の回復を見据えながら、東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者等の関係機関と連携し、各市場への効果的な情報発信や広域周遊の促進、ホームページなどのPRツールの充実を図り、本県の魅力や安全・安心な観光地であることを発信し、外国人観光客の回復を図る。

目標値：外国人宿泊者数27万人（令和6年）